

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	04	0402	消防水利維持管理整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	消防水利の充実					
対象	市民					
意図	火災時に市民の生命、財産を守るため、消防水利を整備する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○消火栓維持管理 ・火災等の災害時、支障なく活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施する。 (既存消火栓の一般修理、防火水槽・防火ため池等の清掃、軽微な修繕に係る補修資材の購入、消火栓・防火水槽の標識の購入)</p> <p>○消火栓等水利施設整備 ・火災時の被災建物等を早期鎮圧・鎮火し、また、他への延焼を防止するため新設消火栓を設置する。 (花巻地域4基、石鳥谷地域2基、東和地域2基) ・支障消火栓の移設。(花巻地域1基)</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	○事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	消防水利の整備	箇所	計画	11	10	
			実績	10	8	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	消防水利の充足整備	%	目標	100.0	53.0	
			実績	51.9	52.3	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 消防水利の充足整備について、市街地、準市街地の整備を図ることにより充足率を高める。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民を火災から守るという消防の責任を果たすため必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	消防水利の充足率が100%に至っていない。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	消防水利は消防水利の基準に基づき、計画的に順次整備する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	消防水利が充足されている地域と、不足している地域の格差を解消する必要がある。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
消防水利不足地域の改善のため、消防水利の基準に基づき最も有効な消防水利の整備を図っていくことが必要である。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	09	01	04	0402	消防水利維持管理整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			16,226		16,226
財源内訳	国・県				
	地方債		8,100		8,100
	その他				
	一般財源		8,126		8,126

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

消防団の充実強化を図る。

事業開始の背景・経緯

市は火災を予防し消火する義務があり、その為にも消防水利を設置、維持管理する必要がある。

事業概要

○消火栓維持管理
 ・火災等の災害時、支障なく活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施する。
 (既存消火栓の一般修理、防火水槽・防火ため池等の清掃、軽微な修繕に係る補修資材の購入、消火栓・防火水槽の標識の購入)

○消火栓等水利施設整備
 ・火災時の被災建物等を早期鎮圧・鎮火し、また、他への延焼を防止するため新設消火栓を設置する。
 (花巻地域4基、石鳥谷地域2基、東和地域2基)
 ・支障消火栓の移設。(花巻地域1基)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市内全域の消防水利を、格差なく均一になるよう配置出来ればよいが、水道配水管や道路形状等の理由により無水利地域ができる。

担当部署 部名 消防本部 課名 警防課 担当係長 佐藤洋一郎 内線 377

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【消火栓維持管理】	
消火栓保守点検、維持管理及び修繕	6,346千円
花巻地域1,257基、大迫地域87基、石鳥谷地域414基、東和地域237基	
防火水槽補修作業員賃金(草刈、泥上げ等の清掃)	102千円
補修資材	89千円
消耗品費(消火栓、防火水槽標識等)	500千円
【消火栓水利施設整備】	
消火栓新設工事	8,628千円
花巻地域4基、石鳥谷地2基、東和地域2基(合併特例債)	
消火栓移設工事	561千円
花巻地域1基	